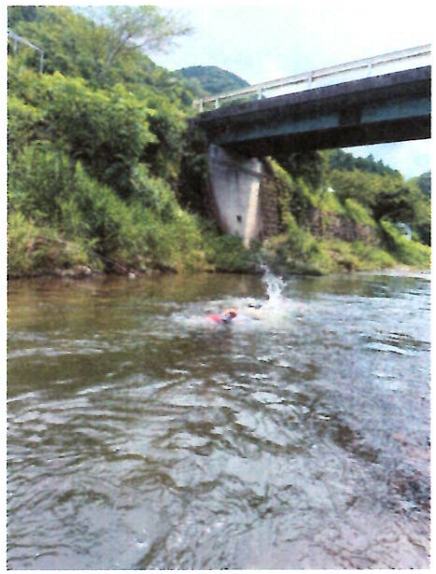
# あいがも屋通信

## No１７２　溶けそうな夏号

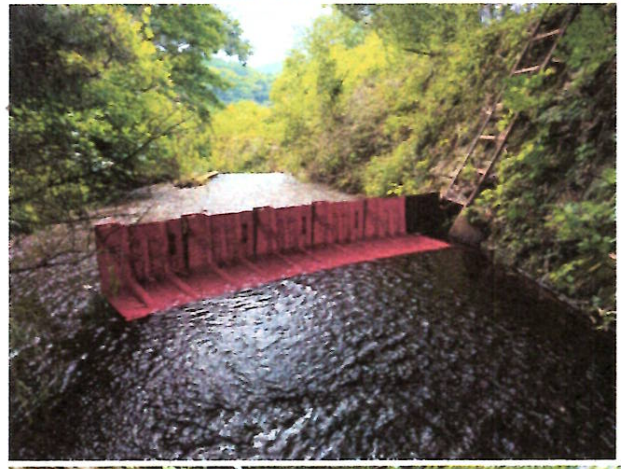
今年は田んぼの暑さ対策として、あえて
田植えを遅らせて、登熟の時期を少し
涼しくなる時期に当たるように調整したの
ですが、まさかの梅雨が寒く生育に遅れが。
また長雨と霧で病気の発生も見られ
心配していました。
梅雨が明け、酷暑となり、遅れていた稲の
生育は順調となり、いもち病も何とかストップ、
合鴨たちとロボットと人の手で抜きまくった
田んぼの草も（一部を除いて）除草でき、
これからは収穫に向け稲の力を引き出す
作業になります。
今は草刈りと、イノシシ柵の設置、水の管理に追われ、
汗だくになったらお昼には川に飛び込みます。
今年は社員用にシャワールームも作ったのですが、
なかなか遠慮して使ってもらえないので主に私が
使っています。

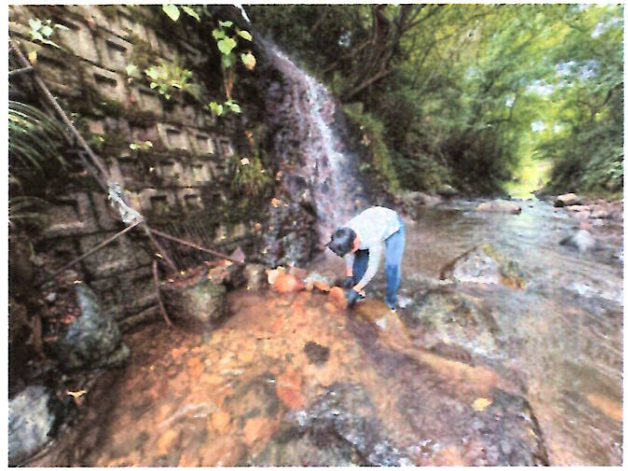


# 田んぼの水管理強化月間

水源である粟田川を泳ぐのは
水の環境を知る意味もあります。
毎日息子といっしょに泳いでいる
(趣味でもあるのですが）のですが
水温や水量、場合によっては
水の環境の変化にも気づけるので
大切な日課になっています。
最近はゴギやハヤなどの魚が
増えています。

粟田川からの水路と山からの水を
調整しながら水門の整備や管理、
揚水ポンプの実働など、酷暑対策の
毎日です。昨年の反省を生かして
早め早めの対応で田んぼの水が
乾かないように注意しています。



ただ7月30日現在、7月8日以降の
降雨はなく、夕立を期待しますが
空振りです。なので地元の方と
協力して水を分け合い、
水路と田んぼの管理をしているので
人の手、地域の協力の大切さを
痛感します

そろそろ川の水が濁ってきて
水量も減ってぬるくなってきたので
一雨ほしいところですが、
降ったら降ったで災害や水路の
破壊などが発生するリスクもあるので
ほどほどの天気で
あってほしいのですが・・・